

【事業実績】

安曇野には公立・私立を含めた美術館・博物館が20館以上あり、地域の歴史・文化・芸術等に触れる多くの場を提供している。本事業は、安曇野に点在する美術館・博物館が連携することで、地域文化振興の核としての役割を果たすこと、また安曇野としての一体感の醸成に寄与することを目的として実施した。

(1) 地域課題解決に向けた多世代の学びの創出にかかる取組

① ギャラリートークリレー

特定期間に複数館の職員がギャラリートークを行い、相互に他館を紹介した。

【期間】令和4年10月22日(土)～11月6日(日)

【参加者・実施回数】美術館・博物館14館、一般779人、335回

【感想】ご来館くださった方に「説明してもらったので、より楽しめた」と好評頂きました。感染症がおさまらない中、お話をすることを嫌がる方もいらっしゃるかと、気を遣いながらでしたが、ギャラリートークを断られることは特にありませんでした。

② 美術館博物館学芸員等研修会

【期日・場所】令和4年10月11日(火) 碌山美術館

【内容】安曇野市内に多くある彫刻作品の経年劣化による彫刻の錆などをクリーニングする知識や技術を専門家から学び、屋外作品のどのように保存していけばよいのかを考える機会とした。講師による講義及び実際に作品メンテナンス作業を行った。

【講師】篠崎未来(近代彫刻保存・修復 美術史研究家)

【参加者】市内及び近隣市町村の美術館博物館等の職員・学芸員、信州大学学生計16名

【感想】私は大学の専攻として芸術関係を学んでいて、ある程度彫刻にも関心は持っていましたが、街中の彫刻がどうしてそこにあってどのように管理、維持(または放置…)されているのか正直考えたことは無かったです。座学の際に触れられていたアウトリーチとの関連性についても極めて興味深かったです。ギャラリー内で何か体験活動をするよりもずっと効果的なもののように思えました。



ケ デジタル技術等の先進技術を用いた新たな鑑賞・体験・学習モデルの創造によるコミュニケーション活性化の取組

① ミュージアム解説ブック

小中学校向けのweb版・美術館鑑賞解説ブックを作成、3月から公開した。

配信にあたっては、周知用のチラシを市内の児童生徒に配布した。

【期日・対象】3月7日～公開・市内の児童・生徒

【URL】<https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/43/99970.html/>

【参加者】美術館・博物館14館

【感想】来年度も引き続き、webブックの活用を、学校なり地域なりに働きかけて頂けることを、期待しております。その上で、美術の授業や地域の学習にどの位役立てられたのかを、フィードバックして頂けたらと思います。



② オンラインギャラリートーク

美術館・博物館の学芸員等が作品・資料の解説を撮影し公開した。

【期間】令和4年12月22日 オンライン公開開始～(公開中)

【参加者】参加館13館、公開～3週間の動画再生回数1,372回

【URL】<https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/43/99970.html/>



【感想】撮影の際、「リラックスして自然に、にこやかに」と声掛けをしていたきながら撮影に臨みました。他館のトーク画像を拝見するとびしっとした感じで学芸員らしい口調や表情で撮影されていて、その方が良かったかな、当館はちょっと軽い感じだったかなと気になっています。またこのような機会が頂けた際は今回とは違う口調・表情で臨んでみようかと思えます。



コ 実物に触れる感動の醸成による地域資源・博物館資源の価値向上（地域ブランドの向上）と新たな知の共有にかかる取組

① 学校ミュージアム

【内容】各施設が収蔵する作品を市内の小中学校で展示し、児童生徒が本物の美術作品や歴史資料等に親しみ、作品解説を通して資料を学ぶ機会を提供した。

【期日・対象・場所】

- 11月22日(火) 堀金小学校 全校 体育館
- 11月28日(月) 豊科南中学校 1、3学年・全6クラス・多目的室、視聴覚室
- 12月20日(火) 22日(木) 堀金中学校・全校・多目的室1
- 1月26日(木) 穂高東中学校 1学年・学習室1～4、進路指導室

【参加者】美術館・博物館12館、アーティスト2名

【感想】

(参加館)今回、展示した作品は、普段は常設で館内に展示しているもので、作家本人の思い入れが有り、入館者にも人気の作品だったが、小学生に、「懐かしい安曇野の風景」は、説明が難しかった。題材選びが大事だと思いました。

(教員)生徒たちがこんなにも集中して話を聞くことができ驚いた。地域を知るこういう授業や活動はこれからもずっと続けてほしい。



参加館によるトーク



アーティストの実演

② 連続講座

【内容】金井直教授に進行をお願いした。学芸員による作家等について2回の連続講座を行った。

【期日・講師】

- 11月11日(金) 碓山美術館学芸員、安曇野ちひろ美術館学芸員
- 11月25日(金) …高橋節郎記念美術館学芸員、絵本美術館&コテージ森のおうち学芸員

【参加者・人数】一般、会場(22人+16人)、オンライン(11人+15人)



③ 信州大学連携

【内容】信州大学人文学部の学生を対象に、美術館・博物館における仕事について実践的に学ぶ機会を創出した。

【期日・参加者】

- ・博物館実習生受入れ 8月5日～9月19日のうち10日間、豊科近代美術館、信州大学学生2名
- ・ミュージアムツアー 12月17日(土) 碓山美術館、田淵行男記念館、熊井啓記念館・人文学部博物館実習生17名
- ・熊井啓資料調査 1月24日(火)～2月12日(火) 信州大学図書館、人文学部博物館実習履修生

【感想】3つのミュージアムをめぐる鑑賞と対話の機会は、学芸員資格取得を目指す学生たちにとって非常に貴重なものでした。「展示の仕方や展示内容、資料保存や博物館の問題点といった観点を意識しながら鑑賞することができ、非常に有意義な時間だった」といったコメントが寄せられています。また、こうした機会をご用意いただいた活性化事業に対する謝意も多く、学生から示されています。彼らがあらためて館園実習でお世話になることもあろうかと思えます。ひきつづきよろしく願いいたします。



学生の博物館見学